

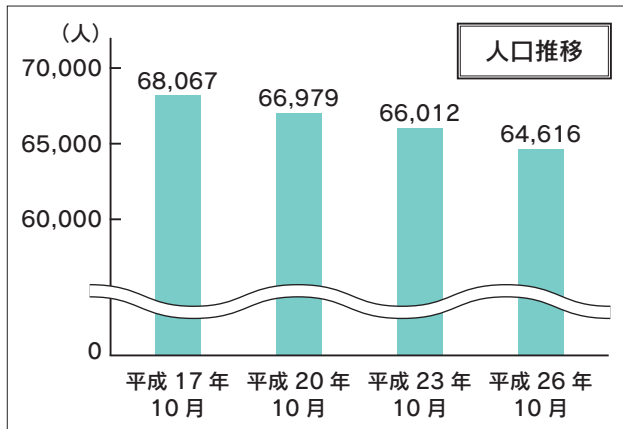
■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 邦文



■ 本市の現況

本市の人口は約 6 万 5,000 人です。65 歳以上 2 万人, 75 歳以上 1 万人, 100 歳以上 46 人, 今年 100 歳になる人 18 人。112 歳の県下最高齢者(女性)も健在です。ただし新市誕生後, 人口は 3 年間で 1,000 人ずつ減少しています。これをどう食い止め, どうすれば人口増へ反転できるか, 今, 行政の総合的な力量が問われています。



財政状況については, 直接本市に入る税収(地方税)は約 100 億円。ちなみにたばこ税はこの内 5 億円。余裕のない中, 税金を納めてくださっている市民のみなさんに感謝し, 慎重に大切に予算化しています。実質公債費比率も 12% 台にまで下がりました。第 2 の夕張市を覚悟した合併直後の状況と比較すると, まるで夢のようです。

ある経済情報誌の住みよさランキングによると, 今年は全国 154 位と少し下がりましたが,

中国地方で 7 位, 県下では 3 位でした。この情報誌によると, 1 年後の本市の景気は上向くそうです。この種の評価に接するにつけ, 私は, 不十分な点は多々あるにせよ, 「住みよさの点で, まあまあの街に住んでいるのだなあ」と, 自分に言い聞かせています。

■ 大学の公立化

7 月 28 日の市議会臨時会で, 学校法人東京理科大学・山口東京理科大学の公立化が承認されました。まだ知事の認可が残ってはいますが, 順調に行けば, 来年 3 月末, 晴れて山陽小野田市立の「公立大学法人」が誕生しそうです。間もなく, その第 1 期生の入試の時期を迎えます。また, 平成 29 年 4 月には薬学部が増設され, 大学が一回りも二回りも大きくなる予定です。このまちの「人口減少を食い止め, 人口増へ反転」のきっかけの一つにすることができるとを願っています。

